



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

NO. 6

発行責任者 國川 哲 勇

住所 東村山町本町 2-15-6

TEL: 0423-94-1218

△定額購読費三ヶ月

11.21 (日)	6~9時	DE
23 (火)	6~9時	DE
27 (土)	13~17時	A, B, C
28 (日)	6~9時	A, B, C
12.4 (土)	13~16時	A, B, C
5 (日)	8~12時	DE
11 (土)	13~16時	A, B, C
12 (日)	8~12時	C, D, E

武谷夫妻、二年連続の ペア優勝!! 概況

東村山市民テニスクラブ主催の秋季テニス大会(男女 社年 シンクルス)は10月7日・31日・11月7日の三日間、市の運動公園テニスコートにおいて、総勢148名が参加して大いに盛り上がりました。男子シンクルスでは、第一シードの武谷氏(東多ク)が前半に続き優勝。女子シンクルスは、東生クラブの、山口さんと、東多クラブの、武谷さんのペア戦となりましたが、武谷さんが、第一シードの貫録をホレ、優勝し、夫妻で二年連続優勝と言う運業を成し上げました。社年シンクルスは、長山氏(本町クラブ)が健闘し準優勝でした。

協議会関係の参加者は、一般男子 111 名中22名、女子28名中14名、社年男子9名中4名です。

▲ 一般男子

準決勝	武谷 (6-5)	高崎
	(東多ク)	(グリーンク)
	小田 (6-2)	室徳
	(明流乳業)	(日産製)

決勝	武谷 (6-5)	小田
	(東多ク)	(明流乳業)
		(6-4)

▲ 女子

準決勝	武谷 (6-1)	渡宮
	(東多ク)	(緑柱ク)
	山口 (6-1)	桑原
	(東生ク)	(東生ク)

決勝	武谷 (6-1)	山口
	(東多ク)	(東生ク)
		(6-0)

▲ 社年男子(45才以上)

決勝	増沢 (6-2)	鎌山
	(一般)	(本町ク)
		(6-0)

新入部員の募集は 1月と7月に

去る10月7日、各クラブの、会長 監事が出席して、監事会が開かれ、今後のクラブの新方針が決められました。もちろん、本決定には総会の承認も得なければいけません。主な決定事項をお知らせ致します。

- 出席監事 東生クラブ 柳 笠野井 山口 広川
 東多クラブ 瀬川 高橋 山本 武谷
 本町クラブ 阿部川 米田 國川

1. 新入部員の受け入れについて

新入部員の受け入れは、本日(10月7日)をもってストップし、今後は1月と7月の年2回とする。申込は、事務員の、山口氏まで。TEL. 0423-92-8202

2. 会費について

現在は3ヶ月単位だったのを、半年単位とする。従って新入部員は、入会金と、2月から7月までの会費が必要です。従来の会費は、1月までの未納の今を納めて下さい。2月分より、半年単位になりますので、まちがいのない様に。

3. 部員の登録について

10月7日現在の会員数は、東生クラブ 27名、東多クラブ 42名、本町クラブ 57名、合計 126 名の多額となりましたが、多く出席された方において、恒意と、不適合の事が多く、来月1月に再登録していただく事になりました。もちろん再登録時には半期分の会費を納入して下さい。

4. 総会について

総会を、12月9日(日) 4時より16時まで、東生の宴会場(予定)で開催します。各クラブ、委員の決定機関となりますので、出席して下さい。尚、総会が終了したら、社年会を前に開催いたしますので、出席して下さい。

5. 今後の日程について

今年の打ち合わせ(総会)は、12月19日(日) AM 8:00~12:00 打ち合わせ。52年1月8日(土) PM 10:00~14:00 定期練習は、冬の間、土曜日は 13時より16時まで、日曜日は 12月、8時より12時まで、1月より 9時から12時までの予定です。

→ 東生へ

6. 技術部の増加について

系項に記載 —— 技術部新誌

7. 事務員について

事務部長代行に、山口氏(草色クラブ)、同、財産管理に、高瀬氏(恩多クラブ)が参加して、予算、新入部員の受け入れ、その他、三クラブの連絡、調整等を行います。

8. 機関紙、カットについて

現在、武谷氏に編集を、お願いしていましたが、新たに広報部のポストを設け、国川氏(本町ク)が引き継ぐ事になりました。2ヶ月に一回の発行予定です。

技術部報告

去る10月31日、技術部会が持たれました。出席者は、高瀬、鐘山、国川、米田、則末、山本、佐野井、武谷の各氏でした。

協議会が発足して以来、技術部が、その役目を果たしていないとの指摘がなされておりました。それが、今年の秋の市民大会ダブルスの成績等に刺激され、その役割りを果たすよう機能してほしいとの意見が強く出されました。そこで今回当面の練習方法について重点的に話し合いました。しかしこれは一つの試みであって今後、もっともっと系統的な練習方法を追求して行きたいと思っています。また技術部の目的が「会員相互の技術水準の向上と同時にその指導、普及」にあるとすれば、一部の人のレベルを上げる事だけを目的にする事は出来ない事は明らかです。初心者や中級者の練習をどう統一していくかが大きな問題となります。

そこで(1)会員諸氏の技術水準に見合った練習をする事が上述の早速だと思われますから、クラス別にして、しかも時間帯をはっきりさせて練習する事にしました。

クラスは A (初心者) — 初めての人の、エンドラインから一本も続かれない人程度。C (中級以上) — フォアハンド、バックハンドストロークがある程度安定して打てる程度以上。B (初級) — A、C以外の人達という具合に分けました。

そのクラス分けは技術部員が相談して決めます。もちろん人望論があれば、御遠慮なく申し出て下さい。尚、来年より、新規入部者は1月と7月にまとめられますので、初心者は、6ヶ月間のスクールに通う様な形式に持っていくと思います。(2)次に時間帯です。初心者Aの方は、土曜日は、2時から4時まで。日曜日祭日は8時から12時の時は、10時から12時、9時から1時の時は11時から1時の2時間です。

(3)指導は中級以上の人が行います。(4)練習の重点(今年末まで)は、初心者はフォアハンドストローク、初級、中級者はバックハンドストロークです。6ヶ月間を自分のものにする努力をして下さい。具体的な練習内容は各クラスで異なってきますが、前に掲げました練習方法のパンフレットの中からえらんでおこなうつもりです。

以上で12月19日までありますので、その望みを持っての練習がありましたら技術部員まで申し出て下さい。

第11回全国スポーツ

祭典に参加して —— 恩多ク、武谷直也

第11回を迎えた新体制主催のこの祭典は、スポーツは万民のものとの考えから、技術、記録の向上を計りつつ、誰でもが参加できる大会として、今日まで全国規模で取り組まれてきました。国体が一部選手の競技の場と化した現在、この祭典は、今年は延べ参加者が、10万人を越えた事でもわかります様に、真に全国民に門戸を開いた唯一の大会に成長しつつあります。競技種目も陸上競技を始め、15種目にものびりました。

テニスは、男女団体戦、男女シングルス、ダブルスの個人戦が11月2、3日、トビーショップアラダ、国立霞ヶ丘競技場で開かれ、東京、大阪、広島、神奈川、愛知、兵庫、京都、静岡の子代表によって戦いが繰り広げられました。東京の代表として参加した男子の武谷、女子の武谷、山口の戦績は次の通りです。男子団体戦は2回戦敗退、そして大阪代表に惜しくも敗れましたが、女子Aは昨年に続き優勝を遂げました。

個人戦では、男子武谷は2回戦敗退、大阪の江口に3-6で武谷、渡辺組は同じく大阪のベテランペアに、4-6で無念の涙をのみましたが、女子武谷は昨年に続き、金メダルに輝き、ダブルス武谷、多川組も優勝をさらいました。山口は強敵京都の松本に善戦反はず一敗地にまみれました。

昨年と比較して、全体的に水準は上がり、特に男子の兵庫、山口は選手が揃っていました。(兵庫の代表の一人にプロ選手の中野みゆさんか参加していました。)女子も過去最高NO2の成績を挙げた人が参加する等、今後層が厚くなっていく傾向があり、東京はもう一躍人張りも、二踏人張りもしないで、テニスでの存在感は望めたいでしょう。

昭和天皇陛下御即位記

一昨年より新編紙を前にして、蓋が全く空の単調な紙面になりましたが、何とか発行にこぎつきました。次号からはもっとバラエティに富んだ紙面を考えています。ご意見、ご投稿をお待ちしています。(く)